

温故知新

On Ko Chi Shin

魅力ある都市空間は、歴史を生かしてこそ。 歴史を体験し広島をもっと知る、新しい旅の始まりです。

広島城を歴史と文化に触れる場所として見つめなおし、観光拠点としてのポテンシャルを最大限引き出します。

歴史・文化の発信拠点

文化財を守り、あらゆるメディアを通じて広島の歴史や文化への関心を高める情報を発信することで、市民・観光客の知的好奇心に応えます。

滞在型の観光地に

広島城三の丸には、歴史館、観光案内所、広島の食や産品が揃う商業施設、観光バス乗降場などが整備され広島市都心部の観光拠点となります。夜楽しめるコンテンツも充実させ、広島を通過型から滞在型の観光地とすることに貢献します。

回遊スタイルの定着

三の丸に先駆けて開業する球場跡地や中央公園広場のほか、平和公園、紙屋町・八丁堀地区など周辺エリアと密に連携して、イベントの同時開催などでエリア全体を盛り上げ、都心のトライアングルの回遊性を高めます。



人を呼び込む三の丸 さらなるにぎわいの創出へ

歴史・文化の発信拠点に。広島城が変わります。

一

開業の流れ

中央公園バス駐車場
令和5年(2023年)4月1日開業

広島都心部の好立地に、広島市が新たに整備する大型バス駐車場。60台駐車可能です。オンライン予約システム導入により利便性が向上します。令和5年(2023年)3月予約開始予定です。

二

広島城三の丸第1期エリア(南側)
令和7年(2025年)3月頃開業

広島の食や産品、歴史・文化を体験型アトラクションなどで楽しめる商業施設が新設されます。69台駐車可能なマイカー駐車場や観光バス乗降場も整備され、広島都心への観光拠点として機能します。

三

広島城三の丸第2期エリア(北西部)
令和8年(2026年)9月頃開業

広島城三の丸歴史館と同時期に開業予定。天守閣、お堀を望める景観を生かし、ゆっくり寛げるカフェの出店のほか、ステージのある多目的広場が整備されます。神楽や縁日など歴史・文化を体感できるイベントが開催されます。

四

広島城三の丸歴史館
令和8年度(2026年度)開業

天守閣が閉館されることに伴い、広島市が新たに整備。武具や古文書などを収蔵し、広島城下町の歴史や文化を紹介する博物館。2階建て延べ約3,700㎡。1階には観光案内所があり、2階には展示室や収蔵庫が設けられます。

商業施設ゾーン

広島のご当地グルメを楽しめる飲食店、広島の特産品が揃う土産店が出店予定。歴史体験も提供します。



多目的広場

お城の景観を楽しみながら、快適に過ごせる空間。常設の鯉城ステージでは、広島の伝統芸能・神楽の上演や、番組の公開放送などを開催。キッチンカーやマルシェも出店し日常的ににぎわいも創出します。



景観ゾーン

歴史館、天守閣へと視線がつながる南北軸。広島城の景観と融合した歴史テイストの空間を演出します。24時間利用可能なトイレは、授乳室、ジェンダーフリーを備えたすべての人に優しい設計です。

観光バス乗降場

バスを降りると、そこは歴史ロマンへいざなう異空間。広島観光の始まりです。乗降時の雨、日差し対策として屋根を設けます。



便利な平面駐車場

広島ICや広島高速4号線から市中心部へのゲートウェイともいえる三の丸に平面駐車場を整備することで、利便性が向上。最大69台駐車可能です。駐車場の一部を活用してマルシェ、キッチンカーなど小規模イベントも随時開催します。

温故知新 懐かしくも新しくも感じる…

On Ko Chi Shin

第1期エリア商業施設



第2期エリア商業施設



第1期店舗コの字型エリア

広島城の景観を最大限に生かした建築デザイン

茶道上田宗箇流が監修したカフェを誘致。また広島味の味としておなじみの有名店や着付け、半弓道など市民や観光客がワクワクするような歴史体験を展開し、「広島城の価値を伝え、残す」取り組みを実施します。



歴史文化を体験し、学び、さらなる興味関心を生み出す店舗

人々が集う中庭を中心にコの字型の建物を設置。外壁を塗り壁、屋根を黒のガルバリウム鋼板立てハゼ葺とし、和風の雰囲気漂わせます。また、閉鎖的にならないよう、大きなガラスを各所に用います。広島城の眺望や水堀を意識したデザインと施設の配置にしています。

天守閣を背景にさまざまなワクワクが楽しめる多目的広場

三の丸の北西側には、天守閣を眺望できる空間を用意します。キッチンカーやブースのグルメを楽しんだり、風にあたりながらくつろいだりできる広島でオンリーワンの空間です。「鯉城ステージ」では、神楽などを上演するほか、イベントのない時間には、デッキスペースとして腰掛けて使うこともできます。



多目的広場

歴史館入館者数『年間40万人』を目指します。



魅力的な商業施設やイベント

上田宗箇流監修のカフェなどの商業施設の他、「神楽」「盆踊り」「七夕まつり」「餅つき」など、季節ごとに楽しめるイベントを実施します。



本事業の圧倒的な情報発信力

テレビ・ラジオ・新聞・デジタルメディア & SNS を駆使。「広島城三の丸にある施設の魅力」を、事業体のコンテンツ制作力で最大限に引き出します。



必要な観光情報をワンストップで

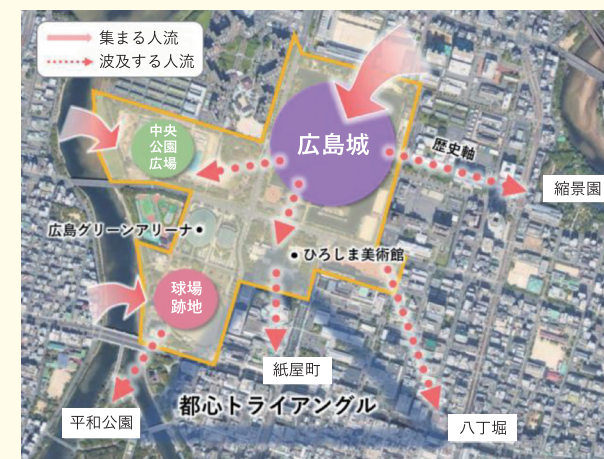
歴史館の中には、中央公園で唯一の観光案内所が設置されます。観光案内所は、観光客にとって広島のまちの窓口です。訪れた方々に良い印象を持っていただけるようホスピタリティに富んだ対面コミュニケーションに努めます。

広島観光のネットワーク拠点へ

観光バスが停車する三の丸エリアは、広島観光のネットワーク拠点となります。右の3拠点において、プロモーションや園内施設での情報発信で連携し、中央公園全体の認知度向上、魅力発信を行います。次世代モビリティのポート設置などを検討し、平和公園や紙屋町、八丁堀など街全体の回遊性を高めます。



バス乗降場



地域全体で歴史を継承。

16世紀末、毛利輝元が太田川河口のデルタに近世城郭と城下町の建設に着手しました。その後広島城は、福島正則、浅野長晟へと引き継がれていきます。江戸時代を通じて広島は政治、経済の中心地として栄えました。また、武家茶道の流れを組む上田宗箇流など様々な文化がこの地で花開きました。城下町の歴史や伝統文化の価値を市民で共有し、地域全体で守り伝えることが重要だと考えています。